

## 1 市の概要（H30年度）

人口	67,355 人
保護率	1.1 %

## 2 支援状況調査（H30年度）

新規相談受付件数人口10万人当 (件) 一月当たり	20.8
プラン作成件数人口10万人当 (件) 一月当たり	5.6
就労支援対象者数人口10万人当 (件) 一月当たり	3.6
就労・増収率(%)	75.9

## 4 事業実績（H30年度）

新規相談 受付件数 (実件数)	就労体験の 利用者数 <small>※企業見学等を含 む</small>	就労者数	障害福祉 サービス等 へのつなぎ	無料職業紹 介事業によ る紹介数
168件	33件	20件	8件	10件

## 5 事業実施のポイント

## 相談者の状況に応じた就労支援のメニューの充実を図る

相談者の状況に応じて、できるだけ多くの支援メニューを提供できるように、企業見学や体験先の開拓、履歴書作成・模擬面接等の支援を実施している。

## 3 実施方法について

実施方法	直営・委託
事業費	14,147千円（平成30年度）
理由 (委託)	（委託先：市社会福祉協議会） ○相談支援において、市の関係窓口（生活保護、障害、高齢など）や社会福祉協議会の制度（貸付制度など）と連携しながら効果的に進めるため。
事業概要	○市の窓口にて2名、市社協に1名の支援員を配置し、生活困窮者支援にかかる全般的な支援を実施。  ○無料職業紹介所を設置し、就労支援員による受け入れ先企業の開拓や、就労支援時の企業見学・体験などに同行し、支援を実施。また、相談者と企業側の状況を踏まえたオーダーメイドの求人票を作成。
その他 特記事項	○キャリアコンサルタントの資格を持つ支援員が、就労に関するセミナーを実施。  ○県外在住者を対象とした就労体験（農業、旅館）の取り組みを実施。

## 支援事例 ～就労体験を通じて就労への自信を獲得～

- ひきこもり状態で就労経験がない40代男性について、就労準備支援事業を利用し日常生活習慣を改善後、受入れ先として開拓した個人農家にて短時間の農作業を経験し、働くことに慣れていってもらった。
- その後、製造業の短期間の就労体験を経て、フルタイムの一般就労を達成。
- 利用者は「働くことに対するイメージが、体験等を通じて変わっていき、どんどん自身がついていった」とコメント。

## 6 取り組んで良かったこと

- H29年度より、若者への就労支援や移住・定住の促進を図る就労支援の窓口として、加賀市役所に「まるごとワーク加賀」を創設し、生活困窮者自立支援の相談窓口も併せて設置した。生活困窮者に対する就労支援の充実や、庁内部局における連携の円滑化がなされた。